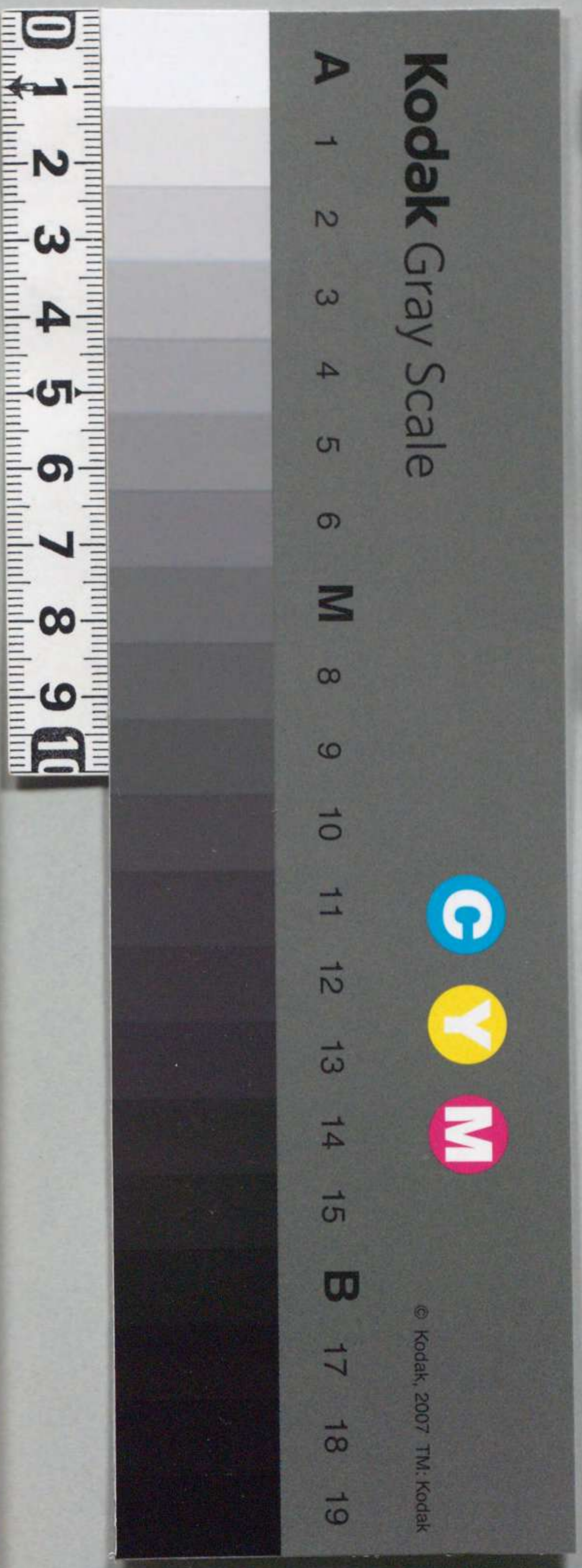
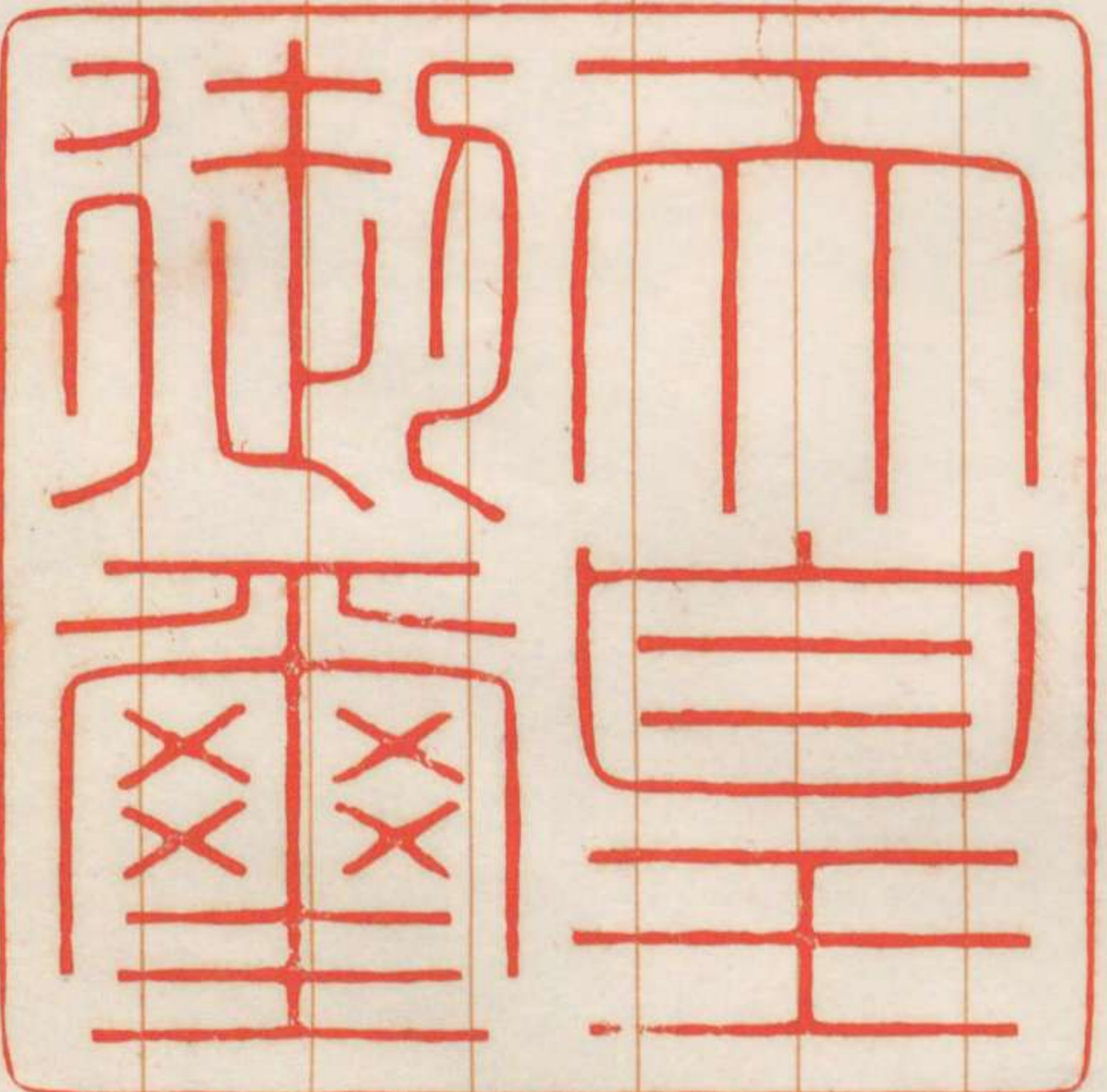


勅令第八十一号



朕陸軍士官學校官制ヲ廢止シ陸軍士官  
學校條例制定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公  
布セシム

睦仁



日

月

明治二十二年六月十日

内閣總理大臣伯爵黒田清隆  
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第八十一號

陸軍士官學校條例

第一條 陸軍士官學校ハ陸軍各兵科ノ  
士官候補生ヲ召集シテ生徒トナシ初  
級士官タルニ必要ナル教育ヲ為スヲ以  
テ目的トス

第二條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長	大佐	一人
次長	中佐若クハ少佐	一人
副官	中尉	一人

教官

少佐三人 大尉二十八人 軍醫一人 獸醫一人 陸軍教授六人

馬術教官

騎兵大尉

一人

中隊長

大尉

二人

中隊附士官

中尉

十六人

軍吏

一人

軍醫

二人

但内一人ハ教官ヲ兼務スルモノトス

獸醫

二人

但内一人ハ教官ヲ兼務スルモノトス

教官ハ定員ノ外他ニ本務アル者ヲ

シテ兼勤セシムルコトヲ得

第三條

本校ニ所要ノ馬匹及材料ヲ備

フ

第四條

校長ハ將校學校監ニ隸シ校務

ヲ總理シ生徒教育ノ責ニ任ス

第五條

次長ハ校長ヲ補佐シ校中一切

ノ事務ヲ監視ス

第六條

副官ハ校中ノ庶務ヲ掌リ其下

ニ准士官及下士陸軍屬若干員ヲ置ク

第七條

武官教官ハ各學科ノ教授ヲ分

擔シ其少佐ノ教官ヲ以テ科長トス

第八條 馬術教官ハ諸生徒ノ馬術及騎  
兵生徒ノ教練ニ任シ兼テ校厩一切ノ  
事ヲ統ヘ馬匹ノ調教ヲ掌理ス其下ニ  
騎兵科下副官同下士若干員ヲ置ク

第九條 武官教官ハ野外演習等ヲ行フ  
時ハ某部隊ヲ統轄セシムルコトアル  
ヘシ

第十條 文官教官ハ學科ノ教授ヲ分擔  
セシム而シテ教授ノ外助教若干員ヲ

置ク

第十一條 教官ハ教授上生徒ニ罰科ト  
シテ別ニ課業ヲ與フルコトヲ得

第十二條 中隊長ハ專ラ訓育ノ事ヲ掌  
リ中隊附士官ヲシテ其諸科目ヲ分擔  
セシメ生徒ヲシテ諸勤務ニ熟セシメ  
且内務及室内ノ整頓並ニ生徒ノ行狀  
ヲ監視スルヲ任トス

第十三條 中隊附士官ハ中隊長ノ下ニ  
在テ生徒訓育ノ細務ニ従事シ殊ニ生

徒ノ身上ニ就テハ日常瑣末ノ事件ニ  
至ルマテ之ヲ監視スルヲ任トス

但騎兵科士官ハ諸生徒ノ馬術及騎  
兵科生徒ノ教練上ニ就テハ馬術教  
官ニ隸ス

第十四條 中隊附士官ハ總テ校内ノ官  
舎ニ居住シ生徒ノ監視ニ便ナラシム  
第十五條 各中隊ニ下副官及下士若干  
員ヲ置キ下副官ハ中隊ノ諸務ヲ整理  
シ下士ハ武器被服諸給與炊爨其他屋

舎内外清

ノ助教ヲ

團各隊ヨリ

ニ供フ

掌リ並ニ體操劔術

兵卒若干員ヲ各師

シメ候補生ノ使用

第十六條 軍吏 書記若干員軍醫

ノ下ニ看護長及病人若干員獸醫ノ

下ニ蹄鐵工長若下長及蹄鐵工若

干員ヲ置ク

第十七條 本校生徒ノ學期ヲ一箇年半

トシ毎年十二月上旬ニ始リ翌々年五



徒ノ身上ニ就テハ日常瑣末ノ事件ニ  
至ルマテ之ヲ監視スルヲ任トス

但騎兵科士官ハ諸生徒ノ馬術及騎  
兵科生徒ノ教練上ニ就テハ馬術教  
官ニ隸ス

第十四條 中隊長士官ハ總テ校内ノ官  
舎ニ居住シテ之ヲ監視ニ便ナラシム

第十五條 各中隊ニ下副官及下士若干  
員ヲ置キ  
中隊ノ諸務ヲ整理  
シ下士ハ  
諸給與炊爨其他屋



舎内外清潔ノ事ヲ掌リ並ニ體操劍術  
ノ助教ヲ分擔ス又兵卒若干員ヲ各師  
團各隊ヨリ分遣セシメ候補生ノ使用  
ニ供フ

第十六條 軍吏ノ下ニ書記若干員軍醫  
ノ下ニ看護長及看護病人若干員獸醫ノ  
下ニ蹄鐵工長若クハ下長及蹄鐵工若  
干員ヲ置ク

第十七條 本校生徒ノ學期ヲ一箇年半  
トシ毎年十二月上旬ニ始リ翌々年五

月下旬ニ終ルモノトス

第十八條 本校生徒ハ二中隊ニ編成シ各中隊ハ同學期ノ生徒ヲ以テス

第十九條 本校生徒ノ教育ハ之ヲ分テ教授及訓育トシ其科目ハ將校學校監ノ定ムル所ニ據ル

第二十條 本校生徒ハ其兵籍素ヨリ本隊ヲ離ル、コトナシト雖モ入校中ハ總テ本校ノ管轄トス

第二十一條 本校生徒ノ諸給與ハ別ニ

定ムル所ノ規則ニ據ル

第二十二條 本校生徒ハ情願ヲ以テ退校スルヲ許サス

第二十三條 本校生徒中左ノ事項ニ該ル者ハ退校歸隊セシム

其一 學術科ノ豫習全カラスシテ實際勤務上ノ識力ニ乏シク卒業ノ目途ナキ者

其二 品行不正ニシテ悔悟ノ目途ナキ者



其三 自己ノ不攝生ヨリ發病シ久シク休業スル者

其四 長病ニ由リ卒業ノ目途ナキ者  
第二十四條 學期末ニ於テ生徒ノ將校  
試験ヲ施行ス此試験ニ及第セシ者ニ  
ハ本校教則卒業ノ證書ヲ附與シ且其  
成績優等ニシテ特ニ行狀方正ノ者ニ  
ハ褒賞ヲ與フ

第二十五條 學期中ノ諸結果劣等ノ為  
メ將校試験ヲ受クルヲ得ス若クハ將

校試験ニ落第セシ者ハ本條例第二十  
三條ニ據ル

第二十六條 毎年七月中旬ヨリ九月上  
旬マテノ間ニ於テ凡ソ六週間生徒ニ  
休暇ヲ與ヘ又此間ニ於テ適宜ニ校附  
諸官ニ休暇ヲ與フ

第二十七條 毎年六月全學期ヲ終リタ  
ル生徒歸隊ノ後ハ其教官中隊長及中  
隊附士官ハ八月下旬マテノ休暇ヲ與  
ヘ而シテ九月上旬ヨリ十一月中旬マ

テノ間ハ近衛各師團各隊ニ派遣シ隊  
附勤務ヲ為サシム

第二十八條 前條隊附勤務ヲ為スニハ

中隊長及中隊附士官ハ各本科ノ兵隊  
ニ限ルト雖モ教官ニ在テハ歩騎砲工  
輜重兵隊中ニ就キ己レノ屬スヘキ兵  
隊ヲ希望スルコトヲ得

但騎砲輜重兵隊附ヲ希望スル者ハ  
第一師團ノ各該隊ニ限ル且之カ為  
メ必要ノ時々校厩ノ馬匹及馬具ヲ

貸與スルコトヲ得

第二十九條 本校ニ於テ校馬全數ノ使

用ヲ要セサルトキハ他ノ學校等ノ使  
用ニ供スルコトアルヘシ

